

平成26年度 統計功績者表彰受賞者名簿

(敬称略:順不同)

【叙勲】

平成26年秋の叙勲：瑞宝単光章 高尾 宜秀 佐賀市
平成26年秋の叙勲：瑞宝単光章 前隈 邦彦 有田町

【褒章】

平成26年春の褒章：藍綬褒章 杉岡 里美 佐賀市

【総務大臣表彰】

○労働力調査

(1名)

○小売物価統計調査

桃崎フサミ 唐津市

○家計調査

渡邊千壽子 佐賀市

○平成25年住宅・土地統計調査

古川ひとみ 有田町 野田 祐美 多久市

○各種統計調査員

小林悠紀子 佐賀市 久我三枝子 みやき町



【厚生労働大臣表彰】

○毎月勤労統計調査調査員

役野 浩子 佐賀市

○毎月勤労統計調査事業所

社会福祉法人 晴寿会 佐賀市 玄海産業株式会社 玄海町
医療法人財団 友朋会 嬉野市 株式会社西有田土木 有田町
西九州観光開発株式会社 みやき町
(他1事業所)

【経済産業大臣表彰】

○動態統計等構造統計調査員

築地 宣子 鳥栖市

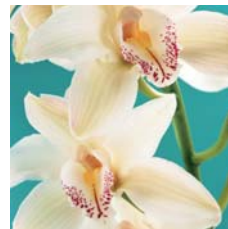
【経済産業省感謝状】

○工業統計等構造統計調査員

古賀 啓子 佐賀市 大宅 松代 武雄市 池田沙智代 有田町
寺崎紀美子 佐賀市 浦川内由美 武雄市 池田裕美子 有田町
加茂 英秋 伊万里市 山口由美子 武雄市
御厨 和子 武雄市 久本 成子 小城市 (他1名)

○動態統計等構造統計調査員

碓 辰夫 佐賀市



【農林水産大臣表彰】

○2013年漁業センサス統計調査員

西 和人 玄海町

【佐賀県統計協会総裁表彰】

寺崎 正純 佐賀市 諸石 洋子 多久市 香月 涼子 神埼市
武田はる代 佐賀市 前田香代子 多久市 岸川 直子 有田町
三浦 祥助 佐賀市 松本 和好 伊万里市 高尾 俊晴 白石町
瓦田 恵子 佐賀市 栗副 好行 伊万里市 片渕 邦子 白石町
北村 正弘 佐賀市 草場 弘 武雄市 草場 照代 白石町
原口 幸子 唐津市 野中 貞幸 鹿島市
梶田芙美子 鳥栖市 片江 和美 神埼市 (他3名)

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。
今後ますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

平成26年度 統計グラフ佐賀県コンクール 入賞作品紹介



佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に182点の応募があり、特選（知事賞）5点、入選20点、佳作48点、また特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞が1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された佐賀大学文化教育学部附属小学校、佐賀県立多久高等学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞した作品の中から優秀な作品17点を全国コンクールに出品したところ、3点が佳作に入賞しました。

平成26年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況

部 門	応募作品数	応募者数
第1部（小学校1～2年生）	20	23
第2部（小学校3～4年生）	65	96
第3部（小学校5～6年生）	55	69
第4部（中学生）	11	22
第5部（高校生～一般）	3	3
パソコン統計グラフの部	28	45
合 計	182	258

※規格外作品含む

★統計グラフコンクールについて、詳しくはこちら★

さが統計情報館

検索

【主催・後援】

主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、STSサガテレビ

【審査員】

池田 邦治（鹿島市立西部中学校 教頭）

他9名



総評

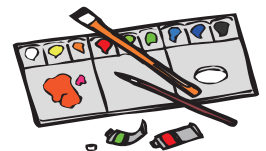
統計グラフの作成は、「どうしてなんだろう?」「どうなっているんだろう?」などと、日頃から色々なことに疑問や興味を持つことから始まると思います。それが「こんなことを調べてみよう」「こんなことを聞いてみよう」という手段や行動につながっていきます。その結果として、分かった事柄をグラフにまとめ、人々に発信していくのが最終的な作品です。その過程には「こうしたい」「こうなってほしい」という自分なりの思いや願いを持つことも大切だと思います。

今回は、そのような作者の思いが伝わってくる作品がたくさんありました。また、年代に応じて表現も多様で、とても楽しく審査させていただきました。ただ、作品はグラフを介して、内容を分かりやすく、印象的に伝えていく必要があります。グラフの種類、色や形、配置など、どう表現すれば効果的に伝えることができるのかを、今後さらに工夫していただき、来年もぜひ挑戦してほしいと思います。

【表彰式】

平成26年11月19日（水曜日）

佐賀県庁 正庁（本館4階）



【入賞作品展示会】

平成26年11月19日（水曜日）～24日（月曜日）

佐賀県庁 県民ホール（新行政棟1階）

★第1部（小学校1～2年生の児童）

【特選（知事賞）】



「ぼくのあさがおのたね」

佐賀大学文化教育学部附属小学校 1年
松本 良啓

講評

身近なあさがおですが、このように植物を育てる（命を大切にすること）ということは、とても大切なことです。作品に添えられた観察日記には、写真付きで毎日の成長の様子が丁寧に記録されていて、その日々の努力にとっても感心させられました。作品のグラフも、あさがおの種のイラストを使うなど、とても見やすく配置されています。ここからも種の一粒一粒を大切にすることが伝わってきて、見る人をとてもあったかい気持ちにさせてくれる作品です。

受賞者の声

とてもうれしかったです。毎日あさがおのお世話をするのは大変だったけど、頑張ってたかったです。このテーマを選んだのは、「あさがおのお世話とたねとり」が夏休みの宿題だったからです。たねぶくろをあけると、ふしぎがいっぱいありました。たねの数やへやの数、へやの中にある種の数が1つ1つたねぶくろでちがっていてびっくりしました。グラフせいかくでは、たねぶくろやたねのマークをつかったり、マークの色や大きさをかえて見やすくなるよう工夫しました。

【入選】

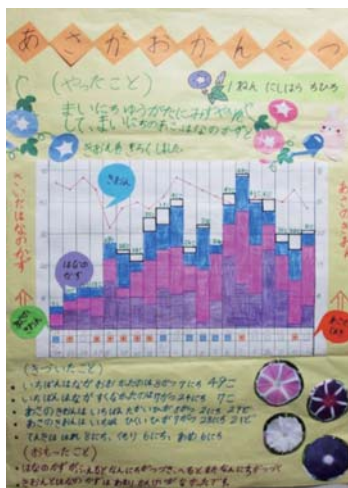
「クリーニング屋さん
大ちょうさ！」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
増田 咲月 2年



「ごっことおかいもの」
佐賀市立勸興小学校
江頭 美宇 2年



「あさがおかんさつ」
鳥栖市立弥生が丘小学校
西原 千尋 1年



「なにいろのじどうしゃがおおいから
しらべてみよう！」
基山町立基山小学校
重松 花恋 1年



★第2部（小学校3～4年生の児童）

【特選（知事賞）】

【入選】 【佐賀新聞社賞】

「ようこそ佐賀へ！」

佐賀市立日新小学校
森

4年
球道



講評

ゆるきゃらやご当地グルメなど、今や各地のPR合戦が目白押しですね。そのような中で、この作品は一目見て、ふるさと佐賀を大切に思う郷土愛が強く伝わってくる作品です。画面全体に佐賀をアピールするイラストがちりばめられていて、図示したグラフもその中にうまく収まっています。データ収集を来県者へのリサーチに着目した点もすばらしく、このグラフデータは県民なら誰でも気になる点ですね。これからも佐賀のよさをたくさんみつめていってほしいと思います。

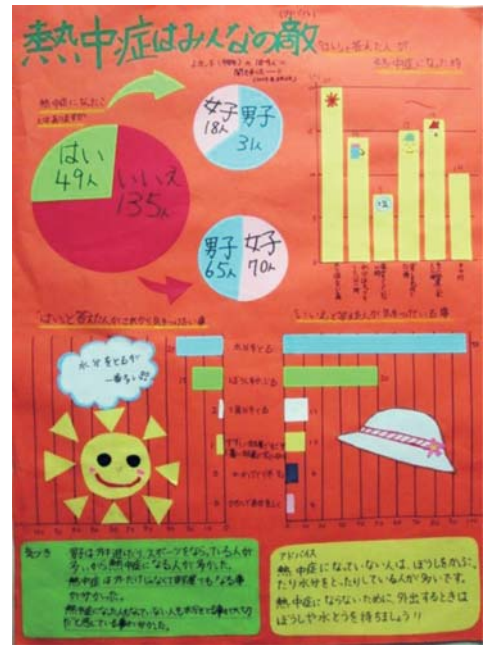
受賞者の声

飛び上がるくらいに、びっくりしました。苦労したかいたがあったな、と思いました。一生懸命に、がんばったので、とてもうれしかったです。
昨年まで、ボイ捨てなど、残念な事について調査していたので、今年は、大好きな佐賀の楽しいことを調べてみたいと思いました。色々な所から、佐賀へ足を運んでくれる人が、こんなに沢山いるんだと思いました。佐賀を好きだと言ってくれる人ばかりだったので、うれしかったです。
イベント会場で、どの人が県外から来た人か、分からないので、声をかけるのに苦労しました。作品を、せい作する時は、佐賀錦や、ムツゴロウなども取り入れて、佐賀らしさを出しました。

「熱中症はみんなの敵（ライバル）」

佐賀市立東与賀小学校
徳富 木原 一夏 菜月

4年
咲帆 春香



講評

小学4年生が現代的テーマの「熱中症」を取り上げた視点に、まず感心しました。学校などで子供たちが救急搬送されるニュースも見かけるようになり、関心も高まっているのでしょうか。作品は円グラフ、棒グラフ、そして照りつける太陽や帽子のイラストをうまく配置して、熱中症の要因や予防法などを分かりやすくまとめています。
明るい色を使い、楽しく、一目でメッセージが伝わる構図となっています。（佐賀新聞社審査員）

受賞者の声

うれしいです。昨年は、入賞でもっと上の賞を目指していたので、この賞がとれてうれしいです。
今年は、ニュースや新聞で熱中症のことがたくさん報道されていて熱中症にかかる人を一人でもへらしたいと思いこのテーマを選びました。
調べてみて家の中でも熱中症になることや、スポーツをしている男子が熱中症にかかりやすいことがわかりました。
200人近くの人にアンケートを取ったので、集計が大変でした。色画用紙などをグラフに使いカラフルに仕上げました。字を大きくしたり小さくしたり工夫しました。また、グラフの線をまっすぐ書くよう気を付けました。太陽くんというキャラクターも作りしました。

【入選】

「目には見えないガスに注目！」

「ほくの家ではガスをどれだけ使ってる?」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
加藤 寛陽



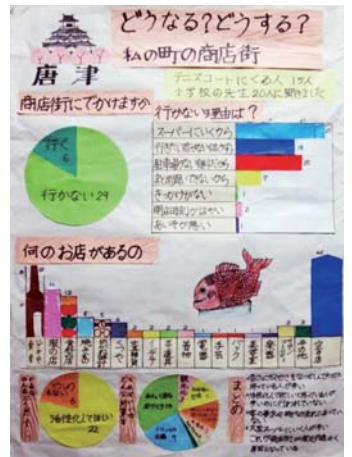
「家族といっしょに食事をしますか？」

神埼市立千代田東部小学校4年
武富 みゆ



「どうなる?どうする?私の町の商店街」

唐津市立久里小学校4年
松本 鼎



★第3部（小学校5～6年生の児童）

【特選（知事賞）】 【サガテレビ賞】



「自然の恵みぼくの家は太陽光発電所」
佐賀市立神野小学校 6年
野中 優成

講評

この作品は、今回応募されたすべての作品の中で表現的にもっとも目を引く作品でした。背景にある大きな太陽が、手前にあるグラフを邪魔することなく、背景であるはずなのに、グッと手前に浮き出てくるような感覚を覚える迫力ある表現です。統計データの着眼点も的確であり、グラフの表現もわかりやすくシンプルで好感を持ってました。統計データ、グラフ表現、絵画的な表現などすべての面で高いレベルと判断いたしました。（サガテレビ審査員）

受賞者の声

本当に知事賞、サガテレビ賞にえらばれるとは思いませんでした。すごいです。
部屋にある発電データをみて発電についてくわしく知りたいと思いこのテーマを選びました。
冬至の時期になると、発電量が減るため、節電をこころがけようと思いました。さらに雨の日と晴れの日発電量も格別に違いました。
グラフの製作にあたって、一目盛りの長さや、ちょっとしたデータの差などをグラフに書くのがむずかしかったです。

【入選】

「ふるさと佐賀再発見！」
佐賀市立西川副小学校
木田 秋穂 5年



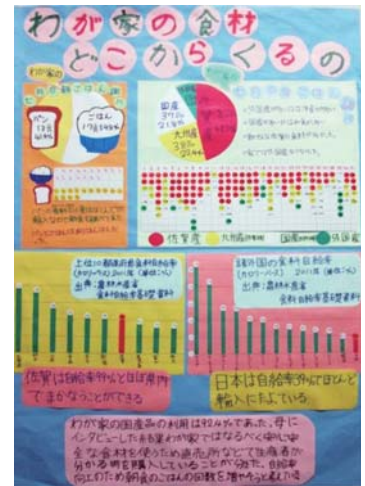
「危険 歩きスマホ
今見なくちゃいけないの？」
多久市立中央小学校
中尾 圭太 6年



「何のための命増え続ける虐待」
基山町立基山小学校
江島 千智 6年



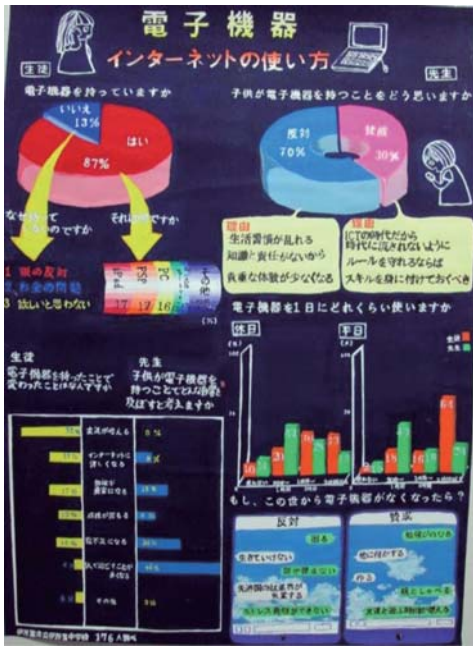
「わが家の食材どこからくるの」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
羽石 光希 5年



★第4部 (中学校の生徒)

【特選(知事賞)】 【全国コンクール 佳作】

「電子機器 インターネットの使い方」



伊万里市立伊万里中学校
3年 古賀 理紗子
3年 船井 海琴
1年 北 明日風

講評

情報化社会の中で、今や必需品ともいえる電子機器に着目した点は、とてもタイムリーで目を引くものがありました。グラフも、生徒と先生や賛成と反対を対比させ、意識の違いが一目でわかるように工夫されています。まるで見る人に「今の自分たちに電子機器は必要な?」と問いかけているようです。作品の内容はデジタル化ですが、作業は小さな文字までレタリングで一字一字丁寧に書かれていて、手づくりのよさやその努力の跡が感じられる作品です。

受賞者の声

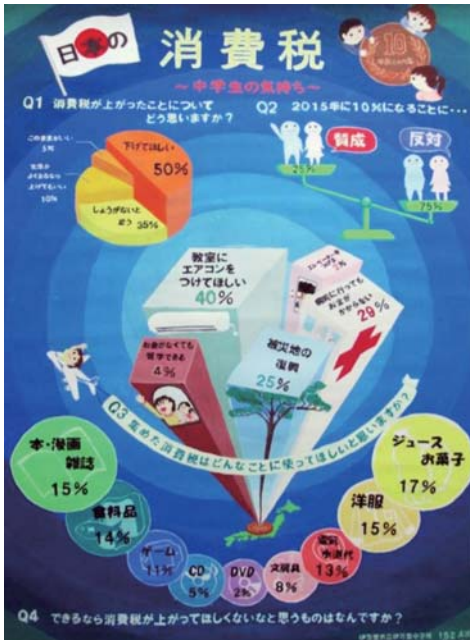
3人で協力して一番いい結果が得られて嬉しいです。中学生で電子機器を持っている人が増えてきて、身近なものになってきたので、どのくらいの割合の人が使っているのかを取り上げたいと思ったのでこのテーマを選びました。調べてみて、日ごろから電子機器を持っている時間が多いことが分かりました。生徒と先生での意見の違いを知ることができました。製作については、背景の色やグラフの配置を考えました。色の彩色も似た色がかぶらないように工夫し見やすいようにしました。

【入選】

【全国コンクール 佳作】

「日本の消費税～中学生の気持ち～」

伊万里市立伊万里中学校
3年 森本 奈々
2年 川本 実音



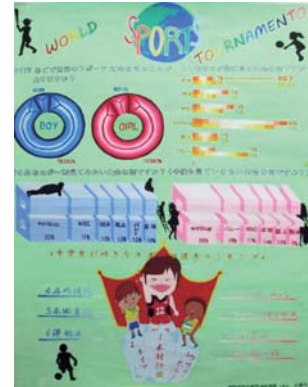
「SUMMER SWEETS」

伊万里市立伊万里中学校
2年 目黒 未愛
1年 吉丸 息吹希



「WORLD SPORTS TOURNAMENT」

伊万里市立伊万里中学校
3年 原 叶佳
1年 目黒 絵梨果



「もし地球がなくなるなら」

伊万里市立伊万里中学校
3年 岩崎 美音
3年 川本 愛生
1年 渡邊 愛里彩



★パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上）
 【特選（知事賞）】

「佐賀の美味しい米をもっと広めよう!!」
 多久市立中央小学校 6年
 福永 嘉恩



講評

これは小学6年生の作品であり「佐賀の美味しい米をもっと広めよう」と題しながらも、家族の農業にふれる中で、今日の後継者問題に危機感を感じ、調査することで何とか解決策を探りたいという作者の思いが、強く伝わってくる心温まる作品です。グラフデータは割合の高い順にきちんと配置されていたり、背景には実際の農作業の風景写真を加工して貼り付けて視覚効果を高めたりと、パソコンの操作技術の高さにも目を見張るものがあります。

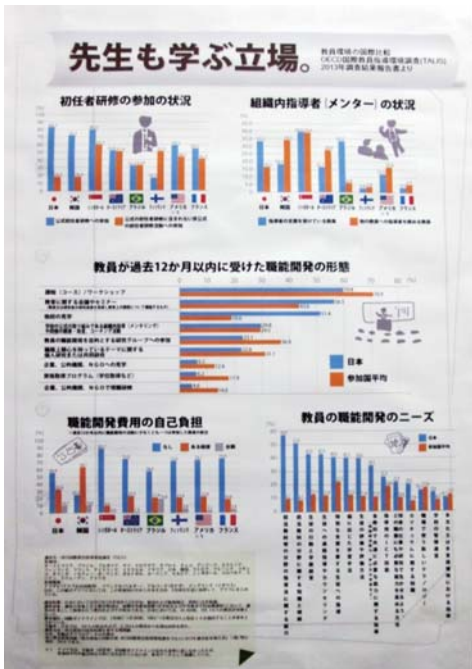
受賞者の声

昨年も頂いて周りからの期待もあったのでプレッシャーもありましたが、今回も県特選を頂けてホッとしています。祖父と祖母がとてもおいしいお米を作ってくれるので、佐賀のお米を知ってほしいと言う気持ちと米作りに対して同年齢の友達はどういう考えを持っているのか知りたいと思いこのテーマを選びました。予想以上に米作りに対して、佐賀のお米に対して関心が低いことにはがく然としました。その中でも農業に興味を持ったり将来の農業のため佐賀のお米に対して考えている友達がいたことに感心しました。製作については、背景に写真を入れてみましたが、写真が目立ちすぎたりグラフの色とかぶったりしたのでグラフを目立つように写真の大きさや位置を調整するところが苦労しました。グラフでは見えにくい米作りの様子を写真で表すことで米作りに興味を持ってくれたと思います。

【入選】

【全国コンクール 佳作】

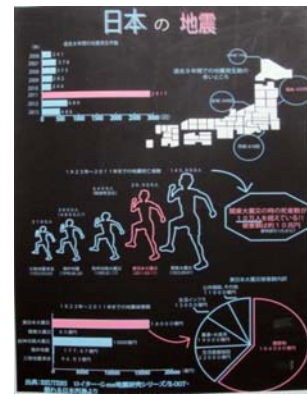
「先生も学ぶ立場。」
 佐賀市一般 中村純一



「若者の就業状態について」
 佐賀県立多久高等学校
 3年 西 萌美



「日本の地震」
 佐賀県立多久高等学校
 3年 田中 忠之



「癌について知ろう!」
 佐賀県立多久高等学校
 3年 大仁田 匠

